

PROFILE

黒川さくら

2016年、ボラみみ編集スタッフに加入。2017年3月名古屋学院大学卒業後、青年海外協力隊に参加。8月より日本語教師として中華人民共和国黒竜江省にあるハルビン市朝鮮族第一中学へ赴任。2019年7月までの約2年間、同校の中学生に日本語及び日本文化を教える。



JICA日本語ボランティアの役割はいろいろ

県ほどの大きさがある私の活動地域は、中国最北端にあるハルビン市です。市の北と南は、一本の大河によって分かれています。北側では毎年冬、世界三大氷祭りの1つ「冰雪大世界」が行われています。氷点下30度、40度の氷の世界は、世界中の人々を魅了しています。そして、氷祭りと同じくらい人々を驚かせている大河は、冬になると凍り、その上を観光客は歩き、楽しめます。冬の時期、そこには簡易テーマパークが出来上がるのです。滑り台があったり、馬がいたりします。

そんなにぎやかな氷祭りの会場からバスで2、3時間南へ。そこに私の任地であるハルビン市朝鮮族第一中学校があります。私はそこで、日々の授業の他、生徒のやる気を引き出すため、時にイベントも開催しています。これまでに、「日本文化祭」や「日本語朗読大会」「日本文化体験祭り」などに取り組んできました。

ここでは2017年11月に行った「日本文化祭」をご紹介します。このイベントでは、日本語を学ぶ中学1年生から高校2年生までの60名ほどが、日々学んできた日本語を活かし、歌や劇、空手を披露しました。日本語を学んで1か月ちょっとの中学1年生は、体を思いっきり使い、日本文化を披露。日本語を学んで4年になる高校2年生は、先輩らしく表現力や日本語をたくさん使う



氷に包まれるハルビン市の氷祭り

劇で観客を楽しませました。当日は校長先生も見に来てくださり、先生方が生徒たちを激励するとともに良いものになりました。生徒たちも「楽しかった」「発音が上手になった」など嬉しい感想を言ってくれました。生徒が認められ、生徒自身も自分を褒め、やる気につながれば良いなと思います、どんなイベントができるかいつも考えています。

こういったイベントの企画やサポートも、協力隊のようなボランティアならではの役割だと私は思っています。現地の先生方は、授業や授業準備、家庭との両立にとっても忙しくしています。そして生徒も、激しい競争社会の中で良い大学に入ることをめざして、ひたすら勉強する毎日です。そんな生徒たちに少しでも「勉強」以外のことも伝えられればと思っています。また、日本語を学ぶ生徒は「英語は難しくて勉強できない頭の悪い生徒」とレッテルを貼られているのです。そんな生徒が周りに認められ、自分を認めてあげる機会を提供するのも、ここに来たボランティアの使命かな、なんて思っています。なので、イベント当日までの道のりがデコボコでも、生徒たちの笑顔や達成感にあふれた顔、そんな生徒を見る先生の喜びを見たら、「あ、また提案してみよう!」と、懲りずに考えるわけです。

いろいろなことが頭の中をぐるぐるしているうちに、気付けばここに来て1年が経ちます。今回は、これまで日常生活で感じてきたことに触れてみようかと思っています。(今回は9月号)

第48回

隔月で、地元企業の社会貢献活動について、各担当者に自社の社会貢献活動を紹介していただいています。第48回となる今回は、株式会社カノークスです。

地元にも根差した企業であるために地域社会に貢献

株式会社カノークス

当社は鋼材の流通を通じて社会に貢献し、昨年の12月1日に創業120周年を迎えました。創業の地である本社所在地周辺の地域社会に対し感謝の気持ちを込めて毎月2回実施している「地域清掃活動」の取り組みについてご紹介いたします。

当社は5年ほど前から全社的な取り組みとして「働き方改革活動」を実施しています。

働きやすい職場とは、会社で働く社員がイキイキと楽しく仕事ができる環境でなければなりません。そのために社員がコミュニケーションを密にする様々な取り組みを実施して参りました。メンバーの一体感を高める目的で「課をひとつに活動」や「イベント活動」など様々な取り組みを実施してきました。このような活動の甲斐あって、当社ではワークライフバランスを重視した働き方が浸透し、平成28年12月に愛知県より「あいち女性輝きカンパニー優良企業賞」を受賞、翌年の1月には同じく愛知県より「愛知県ファミリーフレンドリー企業賞」を受賞いたしました。

「地域清掃活動」はこのイベント活動の一環として始めたもので、毎月5日と20日の始業前(午前8時40分から15分間程度)、本社周辺の清掃を実施しております。これからも地域に根差した企業であるために活動を続けていきたいと思っております。



株式会社カノークス 総務人事部
〒451-8570 名古屋市西区那古野1-1-12 TEL:052-564-3511 FAX:052-565-1714

..... 次回は、中日本興業株式会社をご紹介します。

新団体紹介

隔月で、設立1年未満の団体紹介をしています。NPOやボランティア活動がより身近に感じられるよう、様々な分野の団体を取り上げていきます。

特定非営利活動法人 えこども

団体設立	代表者	連絡先	活動分野
2018年5月7日	岩田 美那子	E-mail:ecodomohiroba@gmail.com 名古屋市守山区上志段味東谷2110-158 えこどもの家	環境 / 文化 / まちづくり

活動目的
子どもと子育て家庭に対する子育て支援、未来の子どもたちのために環境を守る活動を行う。妊娠、出産、子育てを土に触れ自然のリズムを感じられる創造力豊かな農ある暮らしにし、動植物と共に生きる持続可能な社会を実現することを目的とする。

活動内容
(1) 子育て支援 (2) 環境教育
(3) さまざまな人々との共生

団体PR
野生動物が生きて東谷山(守山区)を拠点に連携してきた二つの任意団体が協働で法人化しました。95年から子育て文化支援と野外保育を行う「えこども」と、90年より環境保全教育を行う「守山リス研究会」(2018年愛知環境賞受賞)です。0歳から6歳までは感覚的に自然を愛し、小学生から一般には科学的な視点を学び、豊かな自然を守る後継者を育てたいことを願います。乳幼児の見守り保育ボランティアを随時募集しています。外遊びが好き、子ども心がわかる方、発達の勉強や研究をされている方、お待ちしております。担当者:岩田



肌で感じる日本文化。空手道演技

全てを出し切った演劇「We Are!(海賊の話)」